

NPO法人LomiLomiどっどこむソーシャルコミュニケーションカレッジSCC松本校 (所在地：長野県松本市)



事業名 当事者の卒業後の学び創造(地域が人を育て人が地域を育てる実践研究事業)

主な連携先 長野県教育委員会・松本市教育委員会・専門学校未来ビジネスカレッジ・松本大学・松本市社会福祉協議会

主な対象 18歳以上の知的・精神・発達障がい者

事業の趣旨・目的



- ・学校卒業後も障がい者が学び続けることができる生涯学習の取組みや環境整備！
- ・当事者が主体的な学びを実現する『障がいのある人たちの暮らしを拓く新たな学び』のプログラム開発！
- ・障がいの有無を超えて地域で学び合う機会をつくる『地域の方々と学ぶ公民館を利用した学習プログラム実施』で共生社会の構築！

事業実施体制

- ・連携協議会を置く。メンバー構成：松本市議会議員・長野県教育委員会生涯学習課・松本市教育委員会生涯学習課・松本市教育委員会梓川公民館 館長・社会福祉協議会地域福祉課（梓川地区生活支援員）・松本大学准教授・長野県松本養護学校校長・専門学校未来カレッジ理事長・障がい者家族・地区ボランティアリーダー・コーディネーター：NPO法人LomiLomiどっどこむ会長理事・理事長

学習プログラムの内容



1 《当事者・当事者家族を中心に据えたネットワークとサポート会議》

- ・学校教育から卒業後における学びへスムーズな移行を可能にするために支援学校在学中（高等部）からの学校・行政・当事者・ご家族・当事業所・他事業所を含むサポート会議での情報共有プログラム作成
- ・月1回のオープンキャンパスを実施し周知

2 《障がいのある人たちの暮らしを拓く新たな学び》

- ・当事者の主体的な学び→相互交流を重視した経験スキルのトレーニング！
- ・障がい者のための、国語・算数・英語・社会・自己肯定の授業
- ・経験スキルのトレーニングプログラム（屋内編・屋外編）

3 《地域の方たちと学び合う機会づくり》… 相互学習プログラム

- ・障がいのある人たちと健常者の方たちが共に学び合う機会をつくる／地域の方々にとっても自分自身の得意な手柄を活かす機会づくりで、当事者にレクチャーして共に学ぶ



カルタ大会



●障がい者のための
社会の学び

今年度の取組状況

当事者が孤立を抱えることなく生活できるよう、地域との相互交流・相互学習を重視

- オープンキャンパスを月に1回日曜日に実施してきました。R5年 6月～R6年 2月迄に8回開催し、地域の方々と一緒に取り組むカリキュラムで展開してきました。地域の方々との関わりながらの実践は、参加者にも好評で毎回参加されるご家族も多いです。会場は地域の公民館で開催しています。
- 当事者の学び意欲を講師や職員が活かしながら、何かをきっかけに多岐にわたるものごとの展開と発想で、自由なカリキュラムの話合いも当事者としています。また、当事者自ら講師となり得意なことをレクチャーするなども行っています。調理実習や買い物トレーニング、バスや電車の乗車トレーニング、生活に活かせる算数や国語・英語なども実践しています。
- 地域住民の方にもサブティーチャーとして講座を開いて一緒に学んでいます。陶芸、アート・調理実習など、障がいのある人たちと健常者の方たちと共に学び合う空間はとても調和のとれた穏やかな気づきのある学びです。実践研究を通して地域の方々のご協力が非常に多くとても嬉しく思います。

その他研究の詳細など



NPO法人LomiLomiどっどこむホームページ

<https://projectazusagawa.wixsite.com/npolomilomi>